

2024年3月社会健康医学系専攻専門職学位課程修了見込者 各位

医学研究科教務課大学院教務掛

2023（令和5）年度社会健康医学系専攻専門職学位課程修了に係る  
課題研究の成果のまとめについて

## 1. 「課題研究題目」の提出について

別添の課題研究題目届出用紙に「課題研究題目」、「共同研究者」等の必要事項を記入の上、期限までに提出すること。

①提出期限：2023年12月1日（金）

②提出方法：「PDF（記載した用紙に指導教員が押印したもの）」を以下 URL のストレージへ提出すること。

[https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/VhorwJjZKtLiROS7QeHJ7wWZMpJY97baLoHnVu1\\_IhNE](https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/VhorwJjZKtLiROS7QeHJ7wWZMpJY97baLoHnVu1_IhNE)

提出ファイル名は「氏名\_提出日」とする。例）京大太郎\_20231130.pdf

- ※1 倫理申請を必要とする課題研究は、倫理承認を受けて実施していることを確認し、提出すること。
- ※2 提出期限以降に題目を変更する際は、学生からではなく、指導教員から大学院教務掛へ連絡すること。
- ※3 所属研究分野以外の SPH の教員で共同研究者がある場合、主査・副査から除外するため届出に記載すること。

## 2. 課題研究の成果のレポートについて


### (1) レポート構成

- A4 判用紙にて題名・所属・入学年・氏名・提出日・要旨を1ページ、本文（図表などを含む）を8ページ以内、合計9ページ以内
- 課題研究を行った「過程」もわかるように作成すること。
- 課題研究の資金源および利益相反についても記述すること。
- 臨床研究者養成（MCR）コースは、研究プロトコルのレポートも可。

### (2) 様式

- ・原則和文
- ・A4判・用紙の向きは縦長、ワープロによる横書き。
- ・左右上下とも概ね2.5cmの余白を取る。
- ・活字の大きさは10.5p。原則半角カタカナは使用しない。書体は明朝体（英文の場合はTimes New Roman）。ただし、題目・所属・氏名はゴシック体（英文の場合はArial）。
- ・1行文字数は35～40字程度、1ページ行数は概ね40行程度。（英文の場合、800words程度）

- ・引用文献についての書式は、小さいフォントや狭い行間でも可
- ・ページ番号は下欄（余白 フッター内）中央に打つ。



余白2.5cm

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

社会健康医学系専攻 ○○○○分野

20xx年度入学

○ ○ ○ ○ ○

提出日：20xx年○月○日

< 要 旨 >

【背景・コンテキスト】  
研究課題の意義を説明する1~2センテンス

【目的】  
報告における正確な目的又は研究課題、目的が二つ以上存在する場合、どれが主要目的なのかを示したうえで、重要とされる第2目的のみ記述


【研究デザイン】  
研究の基礎的デザイン。研究機関、必要に応じ追跡期間。以下に挙げる用語から該当するものを全て用いる。  

- ・セッティング
- ・患者もしくはその他の参加者
- ・介入
- ・主なアウトカム

【結果】  
信頼区間やP値を含め、定量的に記述。

【結論】  
得られた結果で直接的に裏付けられる結論のみを挙げる。

1



- 1 ページ目
- (1行目) 研究題目名：センタリング・ゴシック体。長い場合2行にわたってもよい。その場合下記1行ずつずれる
  - (2行目) 専攻名・研究分野名：右詰・ゴシック体
  - (3行目) 入学年度（西暦）：右詰・ゴシック体
  - (4行目) 氏名：右詰・ゴシック体
  - (5行目) 提出日（西暦）：右詰・ゴシック体、最終版にも入れること
  - (6行目) 1行空ける
  - (7行目以降) 要旨の記載・明朝体

10.5 ポイント、行間1行

※左記は構造化抄録の例示であり、記載すべき内容はレポートにより異なる

本文○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

- 2 ページ目
- 本文から開始する（課題名・所属等の記載は不要）
  - 10.5 ポイント
  - ページ番号は2~9。
  - 最終版の英文要旨は10 ページ目

### (3) 指導教員による内容の確認

- 「内容、過程」が学生の「実務・研究に関する問題発見・解決能力」を示すレベルに達していることがわかるレポートであることを確認した指導教員の印が必要である。指導教員の印のないレポートは原則受理されない。

### (4) 提出

- ①提出期限：2024年1月17日（水）
- ②提出方法：「課題研究レポート」及び「課題研究提出届」を以下URLのストレージへ提出すること。

[https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/ehIrw-uZKvLyquban\\_0fm1mFxDzzvCMe6\\_bAAHWUCCFk](https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/ehIrw-uZKvLyquban_0fm1mFxDzzvCMe6_bAAHWUCCFk)

- ・「課題研究レポート」
- A4判9ページ以内のPDFファイルの提出
- カラーを使用せず、白黒で提出

提出ファイル名は「氏名\_提出日\_課題研究レポート」とする。

提出後に差し替えが生じた場合、提出ファイル名を「(差し替え) 氏名\_提出日\_課題研究レポート」とする。例) (差し替え) 京大太郎\_20240117\_課題研究レポート

- ・「課題研究提出届」

別添の様式を利用すること (A4判1枚)。

「PDF (記載した用紙に指導教員が押印したもの)」を提出。

提出ファイル名は「氏名\_提出日\_課題研究提出届」とする。

- ※ 期限を過ぎて提出されたレポートは原則受理されない。止むを得ない理由で期限に遅れる場合は、締め切り日までに、理由書を専攻長に提出する。

### 3. 課題研究発表会について

#### (1) 発表会日時・場所 (予定)

- ①日程：2024年2月6日(火) 全日・2月7日(水) 全日・2月8日(木) 午前の三日間
- ②時間：2024年1月下旬頃連絡する。
- ③場所：芝蘭会館

#### (2) 発表時間・方法

- ①所要時間：発表12分、質疑応答13分程度。計25分以内。
- ②発表方法：発表者は原則としてパワーポイントを使用して発表する。

### 4. 課題研究の成果のレポート (最終版 英文要旨含む) の提出について

①提出期限：2024年2月14日(水)

②提出方法：「課題研究レポート (最終版)」を以下 URL のストレージへ提出すること。

[https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/BhYrwmfZKuLPP\\_YM1TesUMfgFK2LVXiLK9LCUSLDfTbO](https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/BhYrwmfZKuLPP_YM1TesUMfgFK2LVXiLK9LCUSLDfTbO)

- ・発表会前に提出した成果レポートの様式に加え、英文要旨を追加し、合計10ページ以内で作成する。
- ・カラーを使用せず、白黒で提出する。
- ・英文要旨は和文要旨のページと同様の様式
- ・提出ファイル名は「氏名\_提出日」とすること。
- ・英文での提出の場合、1ページ目と最終ページは同じ要旨として、和文の場合と同じページ構成の10ページ以内で作成する。
- ・課題研究発表会後に題目を修正した場合、提出の際にその旨をアップロード画面のコメント欄に記載の上申し出ること (題目の修正に当たっては必ず指導教員による確認・了承を得ること)。

English title○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○ Department  
 余白2.5cm Entrance (Enrollment): April 20xx  
 Name ○ ○ ○  
 Submission: February xx, 20xx

**Abstract**

**Background / Context:**  
 1-2 sentences explaining the significance of the research topic

**Objective:**  
 The exact objective or research question in the report. If there are two or more objectives, describe only the important secondary objectives, indicating which the primary objective is.

**Design / Methods:**  
 Basic design of research. Research institution, follow-up period if necessary. Use all applicable terms from the following list.

- Setting
- Patients or other participants
- Intervention
- Main outcomes

**Results:**  
 Quantitative description including confidence interval and P value.

**Conclusion:**  
 List only the conclusions directly supported by the results obtained.

This is an example of a structured abstract. The contents to be described vary depending on the report.

10

## 10 ページ目

(1行目) 研究題目名: センタリング・Arial。  
 長い場合 2行にわたってもよい。その場合  
 下記 1行ずつずれる。

(2行目) 専攻名・研究分野名: 右詰・Arial

(3行目) 入学年度 (西暦): 右詰・Arial

(4行目) 氏名: 右詰・Arial

(5行目) 提出日 (西暦): 右詰・Arial

(6行目) 1行空ける

(7行目以降) 内容の記載・Times New Roman

## 10.5 ポイント、行間 1 行

※左記は構造化抄録の例示であり、記載すべき内容はレポートにより異なる

## 5. 「進路届」の提出について

①提出期限: 2024年2月14日 (水)

②提出先: 「進路届」を以下 URL のストレージへ提出すること。

[https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/6hIrwZ5ZKvLnT\\_7\\_0r9-2mX-GO5MiihpoyzMGHo9ARtH](https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/6hIrwZ5ZKvLnT_7_0r9-2mX-GO5MiihpoyzMGHo9ARtH)

※用紙は医学研究科 HP からダウンロードできる。

[https://www.med.kyoto-u.ac.jp/for\\_students/affairs\\_m/notification/](https://www.med.kyoto-u.ac.jp/for_students/affairs_m/notification/)

## 6. 2023 (令和5) 年度専門職学位課程修了者の学位授与日・授与式

①学位授与日: 2024年3月25日 (月)

②学位授与式: 2024年3月25日 (月) 午後2時開会 (日程変更にご注意すること。)

(於 京都市勧業館「みやこめっせ」)

※全学の学位授与式終了後、午後4時過ぎ頃から医学研究科における授与式を行う (芝蘭会館稲盛ホール予定)。全学の学位授与式終了後は、速やかに芝蘭会館に移動すること。なお、医学研究科の授与式はアンケートシステムにて参加登録が必要となる (詳細は3月にメールにて通知予定)。

## 備考：(1) 課題研究成果発表会における特許出願等への対応について

- 特許出願の可能性のある発表内容は、原則として発表会以前に出願すること。
- 産官学連携本部に予め（公表予定の3ヶ月前くらいが望ましい）特許出願の可能性を相談すること。

\*連絡先：京都大学産官学連携本部

知的財産部門特許出願・技術移転担当

電話：075-753-9181

ウェブサイト：<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/contact/>

## (2) 課題研究における生成AI利用について

- 課題研究の成果レポートは、本来学生が主体的に学び、作成することが本質であり、生成AIの出力をそのまま用いることは学生自身の学びを深めることに繋がらないため不適切である。ただ、生成AIが今後さらに発展し社会で当たり前に使われることが想定されることから、文章校正や翻訳補助など主体的な学びの補助として適切に使うことは認める。
- 生成AIを利用した際は、どの生成AIをどのように利用したかについて、方法や謝辞などに記載すること。

### (1) 開示方法の例

#### 【生成系AI利用の開示】

本レポートの作成にあたり、著者（〇〇）は〇〇（生成系AIの名称）を〇〇（使用目的）のために使用しました。著者は、本AIを活用して得られた内容を吟味し、必要に応じて修正しており、提出物の全責任は著者にあります。

### (2) 引用方法の例

〇〇〇 (ChatGPT, personal communication, February 16, 2023)

参考資料：APA "How to cite a nonrecoverable source" Retrieved from <https://apastyle.apa.org/blog/nonrecoverable-sources>, March 17, 2023.

(3) もしも生成系AIの出力情報あるいは翻訳校正等に関する文章そのものを引用する場合、その引用箇所がわかるように、指導教員の指示や当該学問分野（学会等）のルールに沿って、引用符を用いて明示すること。

(4) 長期的に参照可能な資料（書籍や学術雑誌に掲載された論文等）を使用することを推奨する。

(5) 引用が明記されていない場合は、剽窃・盗用とみなされることがある。

- 生成AIを利用する際は、別紙「大学・高専における生成AIの教学面の取り扱いについて」を参考に、生成AIを使うことのデメリット・問題点（技術的限界、情報の不確実性、著作権に関する留意点など）をしっかりと留意する必要がある。

医学研究科教務課大学院教務掛

Email: kyoumu-in@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp